

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	明治学院大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	メイジガクインダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ(講義)、インターンシップ(実習)
	学部・研究科等名	経済学部
	担当教職員名・役職	久野 哲(非常勤講師)
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	37
受入企業等数	11	
受入企業等名	(株)アキテム、三井不動産リアルティ(株)、城南信用金庫、(株)ナジック・アイ・サポート、野村證券(株)渋谷支店、(株)キタムラ、(株)東和エンジニアリング、(株)共立メンテナンス、京王観光(株)東京中央支店、(株)八方園グループ総本社、(株)渡辺住研	
インターンシップの分類	8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	○営業担当者との同行営業 ○市場調査にもとづく、新規事業の立案と発表
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次～3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位および1単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	2年次を対象に専門科目としてインターンシップ(講義)2単位を実施し、その履修者を対象に3年次に専門科目としてインターンシップ(実習)1単位を実施、夏期休暇期間中に最低5日間40時間の就業体験を義務づけている。「講義」では働くことについて考え、キャリアデザインの考え方を学び将来像を描くことを目標としている。「実習」では社会人との交流や会社組織体験を通じて、今後の進路選択の基礎となる考え方を学ぶ。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	受け入れ先企業が実施する発表会等に適宜担当教員が出席している。

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	2年次に履修する「講義」では、①キャリアデザイン、自己分析・自己理解等基本的考え方を学ぶ②新聞を読んで労働環境、世界経済、企業情報などに関するレポートを毎回提出③企業に働く人の生の声を聞く これらについて講演、ワークショップ、グループ討議によって授業を進めていく。3年次に履修する「実習」では、ビジネスマナーやインターンシップの選び方、探し方など実践的な説明を行う。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ終了後にPDCAサイクルに従った報告書の提出を求め、事前目標から得たことを復習させている。提出時には必ず教員が面談を実施して学びの確認をしている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	受け入れ先の発表会が実施される会社(2017年度は2社)には担当教員が出席し、参加学生と面談している。また、受け入れ先企業にはインターンシップ終了後、企業担当者に受け入れ学生の評価について聞き取りを行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「PLAN=実習前に設定した目標」「DO=実習で体験したこと」「CHECK=体験を通じ自身で気づいたこと」「ACTION=これからどうするか」これらを盛り込んだPDCAサイクルを活用した報告書をインターンシップ終了後に提出させ、提出時には担当教員が面談を行って、内容について確認を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間以上(インターンシップ実施期間5日間以上)
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	例1:㈱アキテム<8/28~9/1>例2:三井不動産リアルティ㈱<8/31~9/12> ※左記のうち9/2,9/6,9/9は休み>例3:野村證券㈱ 渋谷支店<8/14~8/18>例4:城南信用金庫<9/4~9/8>例5:㈱キタムラ<8/17~8/24> ※左記のうち8/20,8/21は休み>
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	○各企業には、大学のプログラム説明を直接面談の上、ご理解いただいている。○発表会等で、インターンシップ期間中に面談可能な企業については適宜意見交換を実施している。○インターンシップ終了後には、各企業に何い企業担当者から教員が直接実習中の評価を聞くとともに、次年度の実施改善点を話し合っている。
	7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://kyomu.meijigakuin.ac.jp/kyomu/UnSSOLoginControlFree">https://kyomu.meijigakuin.ac.jp/kyomu/UnSSOLoginControlFree</a>
問い合わせ先	大学等名	明治学院大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	次長
	担当者氏名	佐藤 純
	電話番号	03-5421-5162
	メールアドレス	satojun@mguad.meijigakuin.ac.jp